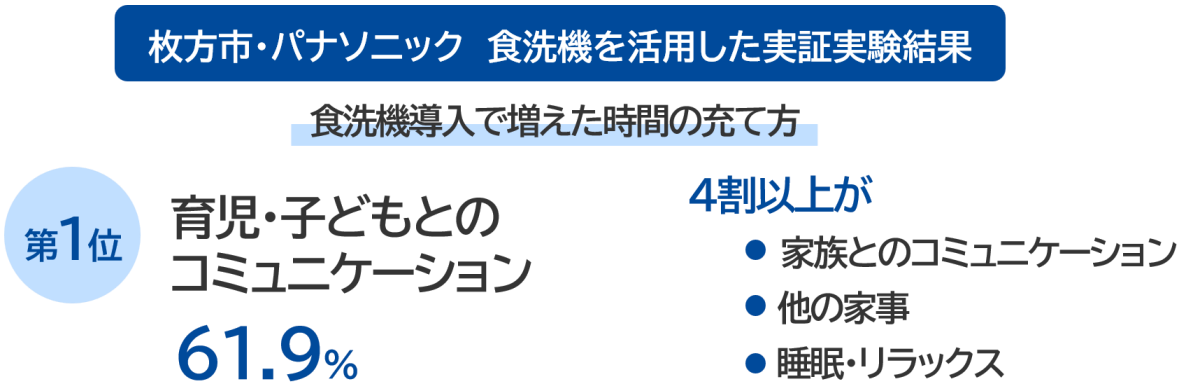
Panasonic

パナソニック株式会社

2026 年 11 月 12 日

枚方市とパナソニックによる子育て支援に向けた実証実験結果

食洗機導入で年間 3.4 日分の「ゆとり時間」創出、くらしの質向上の可能性を示唆



大阪府枚方市（以下、枚方市）とパナソニック株式会社（以下、パナソニック）は、第 5 次枚方市総合計画で掲げる将来像「持続的に発展し、一人ひとりが輝くまち　枚方」の実現に向け、人口減少が進む中においても子育てしやすいまちづくりに共同で取り組むことで合意し、2026 年 4 月に協定を締結しました。

この協定に基づき、枚方市在住で子どものいる 44 世帯に食器洗い乾燥機（卓上型食洗機 NP-TSP1-W。以下、食洗機）を無償で貸与。食洗機による家事時間の短縮が子育て支援や家事シェア促進に及ぼす影響・効果を測定し、公共サービスへのニーズを把握する実証実験を実施しました。

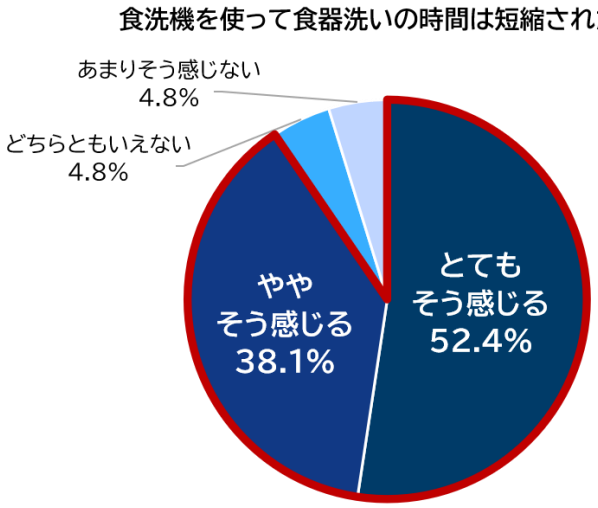
その結果、食洗機の活用が家事時間の短縮につながり、創出された時間を子育てや家族とのコミュニケーション、また保護者自身の睡眠などに充てる傾向が見られました。また、家庭に食洗機を導入したことにより、食器洗いをきっかけに、家族が他の家事にも参加する機会が増える可能性も示されました。これらの結果や回答者の声から、食洗機の活用が子育て世帯の家事負担を軽減し、くらしの質の向上につながる可能性が示唆されました。

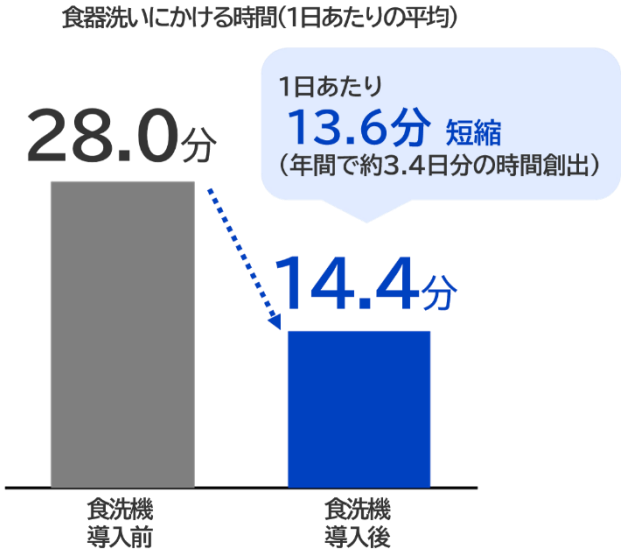
【調査サマリー】

- 食洗機によって食器洗いの時間が短縮されたと感じた世帯は 90.5%
- 食洗機の導入で食器洗いにかける時間は 1 日あたり平均 13.6 分短縮、創出された時間は育児や家族とのコミュニケーションに充てる傾向
- 食洗機によって、家族が食器洗いに参加する機会が増えたと感じた世帯は 47.6%

1. 食洗機による家事時間の短縮：創出された時間は子育て・家族とのコミュニケーションに

「食洗機によって食器洗い時間は短縮されたか」を聞いたところ、90.5%が「とてもそう感じる」「ややそう感じる」と回答しました。実際に食器洗いにかける時間は、食洗機導入前は 1 日あたり平均 28.0 分だったところ、食洗機導入後は平均 14.4 分と約半分に短縮しました。1 日あたり 13.6 分の短縮となり、年間では約 3.4 日分の時間が創出される試算です。





また、食洗機の導入により創出された時間の使い方については、「育児・子どもとのコミュニケーション」が 61.9%で最も高く、次いで「家族とのコミュニケーション」（47.6%）、「他の家事」（42.9%）、「睡眠、リラックス」（40.5%）となりました。

食洗機導入前と比べて増えた時間（複数回答）

第1位	育児・子どもとのコミュニケーション	61.9%
第2位	家族とのコミュニケーション	47.6%
第3位	他の家事	42.9%
第4位	睡眠、リラックス	40.5%
第5位	自分の趣味	16.7%

創出された時間の使い方について、回答者からは次のような意見が寄せられました。

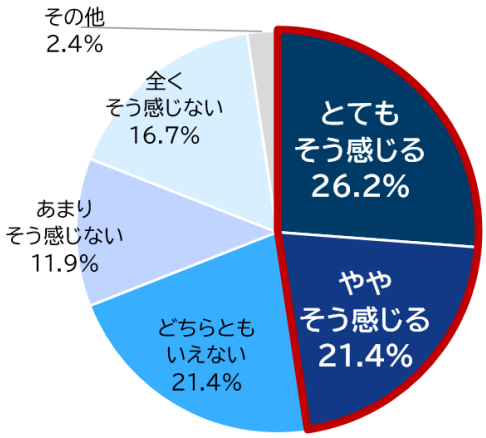
- 洗い物の時間に子供と遊んだりテレビを見たり、また妻とも落ち着いて会話をすることができました（30 代男性/3 人家族）
- 保育園が激戦のため、0 歳児でフルタイム復帰せざるを得なかったが、帰宅後の貴重な時間を子どもとのふれあいに充てることができた。また、自身の休息やリフレッシュの時間も確保しやすくなった（30 代女性/3 人家族）

- 食後の食器洗いに充てていた時間が、子どもと遊ぶ時間や子どもを風呂に入れる時間にできた。また気力や体力が温存できるようになり、その分子どもと遊ぶ機会も多くなったと思う（40 代男性/3 人家族）

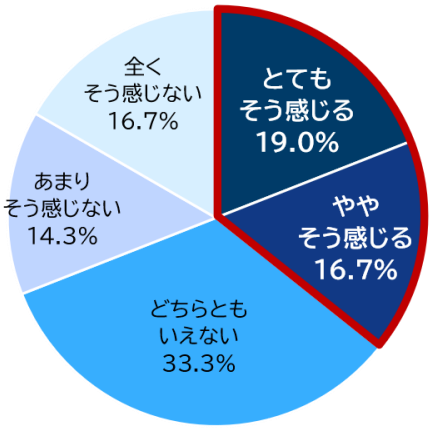
2. 家族の行動変化：食器洗いやその他の家事への参加機会が増加

家族の家事参加についても変化が見られました。「家族が食器洗いに参加する機会が増えたか」を聞いたところ、47.6%が「とてもそう感じる」「ややそう感じる」と回答。また、食器洗いのみならず「家族が家事に参加する機会が増えたか」については、35.7%が「とてもそう感じる」「ややそう感じる」と答えました。

食洗機を使う前と比べ、
家族が食器洗いに参加する機会が増えたか



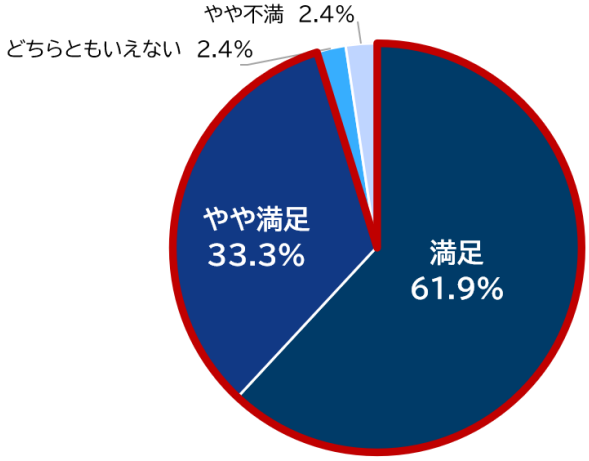
食洗機を使う前と比べ、
家族が食器洗い以外にも家事や育児に参加する機会が増えたか



3. 食洗機の満足度：負担軽減や家族との時間創出が主な満足理由に

「食洗機の満足度」を聞いたところ、95.2%が「満足」または「やや満足」と回答しました。

食洗機の満足度



食洗機に満足した理由として、「食器洗いの負担が軽減された」（88.2%）が最も高く、続いて「自分や家族との時間が増えた」（55.9%）、「手洗いよりもきれいに洗うことができた」（44.1%）が挙がりました。「満足」と回答した人からは、次のような意見が寄せられました。

- 夏は子ども達の部活が 1 番忙しい時期なので疲労困憊でしたが、とりあえず食洗機に入れれば洗ってくれることに救われた夏でした。気持ちの余裕が全然違いました（40 代女性/4 人家族）
- 食事後に“洗い物が待っているから、まだゆっくりできない”という感覚がなくなったのがうれしいです。空いた時間で家族と過ごしたり、翌日の準備をしたりできました。毎日の小さな家事だからこそ、積み重なると生活への影響は思っていた以上に大きかったです（30 代男性/3 人家族）

満足だと思うポイント（最大3つ）

第1位	食器洗いの負担が軽減されたから	83.3%
第2位	自分や家族との時間が増えたから	52.4%
第3位	手荒れが軽減されたから （軽減されるように感じたから）	28.6%
第4位	除菌ができて衛生的だから	26.2%
第5位	節水できて環境に貢献できていると思うから	16.7%

■調査概要

・調査期間：2026 年 5 月 11 日以降の製品引き渡し日から 2026 年 8 月 17 日まで

・調査対象：枚方市とパナソニックによる実証実験として、食洗機を無償で貸与した枚方市内の世帯主が 20～44 歳で子どものいる世帯

・有効回答：42 世帯（回答者は 1 世帯 1 名）※1

＊本調査における構成比（%）は小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、合計が 100%にならない場合があります。

■実施担当者の声

・枚方市　政策推進課　担当者

今回の実証実験を通じて、家電の活用による家事負担の軽減が、単なる時短にとどまらず、子どもと向き合う時間や家族の対話、さらには家庭内での家事シェアの促進へとつながる可能性を確認できました。日常のゆとりから生まれる笑顔やくらしの質の向上は、本市が目指す持続可能なまちづくりの基盤です。今後も民間事業者の技術やノウハウを柔軟に取り入れる共創の取組みを積極的に推進し、子育て世帯に寄り添った施策を検討してまいります。

・パナソニック株式会社　キッチンソリューション BU　食洗機 SBU　担当者
枚方市が目指す子育てしやすいまちづくりの実現に向け、本実証実験を通して、食洗機が家庭に入ることで、子育て世帯における家事時間の短縮と、創出された時間の使い方の両面で価値を発揮することを示すことができました。中でも時間の使い方では、家庭内のコミュニケーションにとどまらず、親自身の時間の創出の重要性についても触れられるコメントやデータがありました。これは子育て支援を行う上で非常に重要な視点であり、今後の新たな政策推進の手助けになったと考えております。引き続き、食洗機によって子育てしやすい環境づくりに向けた活動の後押しをしていきたいと思います。

※1　多数の応募があったことから貸与世帯数を増やし、厳正な抽選のうえ、44 世帯に貸与し実施しました。

＜報道関係者からのお問い合わせ先＞
パナソニック株式会社　広報部：pchq_prstaff@ml.jp.panasonic.com